

付着生物と海洋プラスチックの関わり

令和7年10月10日（金） 10：00～17：40 懇親会 18：00～

於：東京大学大気海洋研究所 講堂

参加費：学会員 2,000円、非会員 5,000円、
学生会員 無料、学生非会員 3,000円

参加申込（〆切 10月7日 ⇄ 申込期間延長しました）
 左のQRコードまたは以下のURLから申し込んでください

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSc-DvTTYHveE3yrc48ySdC6eHcIyYU8ZndlYwOeYHfLUVtiHw/viewform?pli=1>

プログラム

10:00～ 開会挨拶



基調講演



10:10～10:50 海底プラスチックごみの実態と微細化過程

－付着生物の影響に着目して－ 東海 正（東京海洋大学）

10:50～11:30 海洋マイクロプラスチックの分布と動態 西部 裕一郎（東京大学 AORI）

①底生生物からのプラスチック検出技術の開発

12:30～13:00 ウニにおけるプラスチック摂餌痕の形態学的解析の試み

小川 展弘（東京大学 AORI）

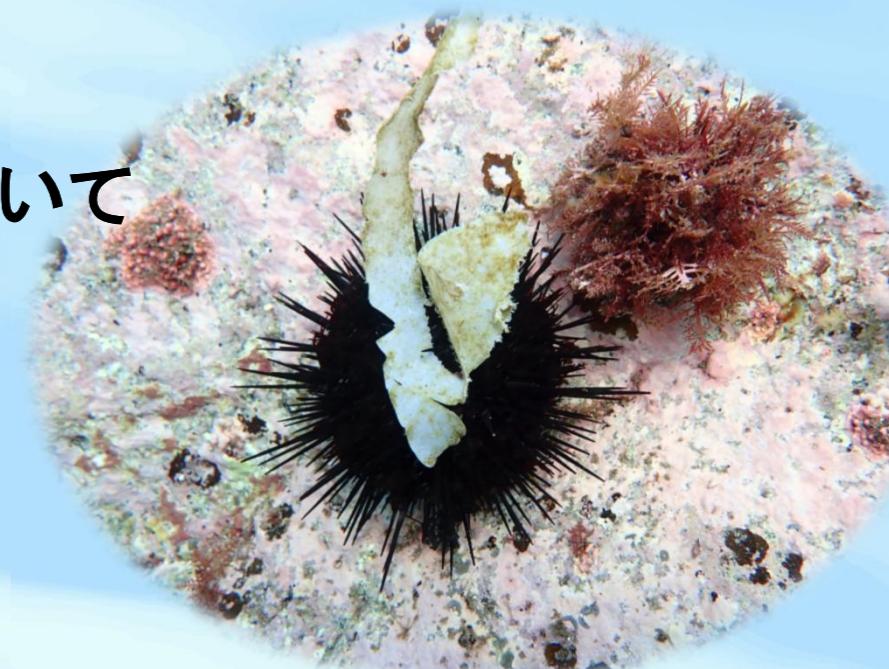
13:00～13:30 μ FT-IRを用いた底生生物中のマイクロプラスチックの分析方法

山下 麗（東京大学 AORI）

13:30～14:00 生物付着面のマイクロプラスチック分析手法の検討

浅野 祥大（千歳科学技術大学）

②底生生物による微細化の実態



14:10～14:40 ウニ類の摂餌による海底プラスチックの微細化について

早川 淳（東京大学 AORI）

14:40～15:10 生物の付着と剥離に伴うプラスチックごみの動態

野方 靖行（電力中央研究所）

15:10～15:40 植食性貝類の摂餌行動に伴うプラスチック微細化

中野 碧（三重大学）

③プラスチックごみによる生物・生態影響

15:50～16:20 漁業系プラスチックごみ（ゴーストギア）の発生背景・影響実態について
苦野 哲史（WWFジャパン）16:20～16:50 イガイ類や魚類へのマイクロプラスチックの取込と排出
井上 広滋（東京大学 AORI）16:50～17:20 海洋におけるプラスチックの微生物分解プロセスの解明
石井 俊一（JAMSTEC）

17:20～17:40 総括

河村 知彦（東京大学 AORI）

18:00～

懇親会 * 予定5000円（要事前登録、懇親会費は当日徴収）